

**後 期 基 本 計 画（素案）
目 標 指 標 設 定 調 書**

（第 5 章 関 連）

平成 2 3 年 6 月 3 日 現 在

目標指標設定調書

| | |
|--------|------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります |
| 施策(項)名 | 商業の振興 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | 目標値 | | |
|------------|----|----------|----------|----------|----------|
| | | H22 | H26 | H29 | H32 |
| 小売業年間商品販売額 | 億円 | 297(H19) | 297(H23) | 300(H28) | 300(H28) |
| 小売業売場面積 | 百㎡ | 272(H19) | 276(H23) | 280(H28) | 280(H28) |

■目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|---|---|
| 1. 項目設定の考え方 | 町民の定住意識の高揚と魅力あるまちをめざすためには、商業の活性化が必要であることから、商業が振興している状態を見る指標として、「小売業年間商品販売額」と「小売業売場面積」を設定した。 | |
| 2. 現状値 | | 商品販売額 297億円 売場面積 272百㎡ |
| | 基準日 | 平成19年6月1日 |
| | 算出の根拠等 | 商業統計調査結果によるもの(今後は経済センサス) |
| 3. 目標値 | 目標値 | 商品販売額 300億円 売場面積 280百㎡ |
| | 基準日 | 平成29年2月1日(確定していない) |
| | 設定の根拠 | 商品販売額は9年間で15.68%落ち込んでいるが、商業の活性化策を推進することで、なんとか現状を維持し、10年後には5%伸ばすことを目標値として設定し、312億円としたい。売場面積についてもそれと連動させて5%伸ばしたい。 |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 基本計画の期間内において、その指標が継続して存続するものであること。
- (3) 基本計画の計画期間である9年を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

| | |
|--------|------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります |
| 施策(項)名 | 工業の振興 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | | | | 目標値 | |
|----------------|----|------------|-------|-------|-------|-----|-----|
| | | H22 | H26 | H29 | H32 | H29 | H32 |
| 製造品出荷額 | 億円 | 3,221(H21) | 3,221 | 3,221 | 3,456 | | |
| 企業立地条例による立地企業数 | 所 | 1(H21) | 3 | 3 | 3 | | |
| 中小事業所現金給与総額 | 億円 | 230(H21) | 230 | 230 | 246 | | |

■目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|---|---|
| 1. 項目設定の考え方 | 町内企業は、町の税収を担うとともに雇用を創出し、人々に安定的な暮らしを提供するものであることから、町内の製造業が振興している状態を見る指標として「製造品出荷額」と「立地企業数」を設定した。また、中小企業の経営が安定している状態を見る指標として4人以上299人以下の企業の「現金給与総額」を設定した。 | |
| 2. 現状値 | 現状値 | 製造品出荷額3,221億円 立地企業数1件 現金給与総額230億円 |
| | 基準日 | 平成21年12月31日（立地企業数は21年度） |
| | 算出の根拠等 | 工業統計調査結果によるもの（企業立地は町条例による） |
| 3. 目標値 | 目標値 | 製造品出荷額3,456億円 立地企業数3件 現金給与総額246億円 |
| | 基準日 | 平成32年12月31日（立地企業数は32年度） |
| | 設定の根拠 | 製造品出荷額は10年間で6.8%落ち込んでいる。特に20年度から21年度にかけては23.28%という脅威の落ち込みがある。しばらくはこの現状を維持しつつ田端への誘致などによって、32年度には10年前の12年度の水準まで回復させることを目標値として設定した。立地企業数は19年度に最多3件という実績があるので、その数値を目標とした。中小企業現金給与総額は順調に伸びてきたが、20年度以降下降傾向である。しばらくはこの現状を維持しつつ32年度には20年度の水準まで回復させたい。 |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください
【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 基本計画の期間内において、その指標が継続して存続するものであること。
- (3) 基本計画の計画期間である9年を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

| | |
|--------|------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります |
| 施策(項)名 | 農業の振興 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■ 目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | 目標値 | | |
|------------|----|------|------|------|------|
| | | H23 | H26 | H29 | H32 |
| 農業基盤整備受益面積 | ha | 60.8 | 64.1 | 67.4 | 70.7 |

■ 目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|--|---|
| 1. 項目設定の考え方 | 農業生産基盤の整備による受益を被る農地の状況・範囲を見る指標として受益面積を設定した | |
| 2. 現状値 | 現状値 | 60.8ha |
| | 基準日 | 平成24年3月31日(平成23年度末) |
| | 算出の根拠等 | 基準日までの農道整備延長に整備箇所にした農地の奥行き |
| 3. 目標値 | 目標値 | 70.7ha |
| | 基準日 | 平成33年3月31日(平成32年度末) |
| | 設定の根拠 | 平成22年度の予算ベースで平成32年度まで推移していくことを目標値とした 整備延長(100m)×農地奥行き(110m)×年数 |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

| | |
|--------|------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります |
| 施策(項)名 | 農業の振興 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■ 目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | 目標値 | | |
|--------|----|-----|-----|-----|-----|
| | | H22 | H26 | H29 | H32 |
| 新規就農者数 | 人 | 0 | 2 | 3 | 4 |

■ 目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|---|---|
| 1. 項目設定の考え方 | 新たな担い手の確保と農地の有効活用の状態を見る指標として新規就農者数を設定した | |
| 2. 現状値 | 現状値 | 1人 |
| | 基準日 | 平成23年4月1日(平成23年度当初) |
| | 算出の根拠等 | 基準日までに新規就農した人数 |
| 3. 目標値 | 目標値 | 4人 |
| | 基準日 | 平成33年3月31日(平成32年度末) |
| | 設定の根拠 | 新規就農に対する制度や仕組みのPR効果もあり、新規就農の相談は増えているものの、実際に農業で生計を立てていくことは非常に厳しい経済状況は変わっていないことから、ほとんどが新規就農に至っていないため、実施計画の最終年度ごとに1名ずつ増加で推移していくことを目標値として設定した |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値として設定してください。

目標指標設定調書

| | |
|--------|-------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特長を生かしたふるさとの創造を図ります。 |
| 施策(項)名 | 勤労者対策の充実 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | 目標値 | | |
|------------|----|-----|-----|-----|-----|
| | | H22 | H26 | H29 | H32 |
| 就労対策事業開催日数 | 日 | 24 | 26 | 28 | 30 |

■目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|--|--|
| 1. 項目設定の考え方 | <p>厳しい経済情勢が続くなか雇用情勢の悪化が深刻な問題となっている。特に、女性の就労やリストラ、雇い止めなどで解雇された方の再就職に向けた支援策が必要となっている。</p> <p>そこで、スキルアップ講座や関係機関との連携による就職支援セミナーなどを開催し、就労支援策の充実を図る。</p> | |
| 2. 現状値 | 現状値 | 24回(6回×4コース) |
| | 基準日 | 平成22年度 |
| | 算出の根拠等 | <ul style="list-style-type: none"> ・短期間でマスターでき、就職後必要となるスキルとしてパソコン講座を開催。 2コース(ワード初級、エクセル初級) 2コース(ワード中級、エクセル中級) |
| 3. 目標値 | 目標値 | 30回 |
| | 基準日 | 平成32年度 |
| | 設定の根拠 | <p>経済状況については予測できないが、大きな回復は見られない状況があることから、さらなる支援策が必要と考え目標値を設定した。</p> |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

| | |
|--------|-------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特長を生かしたふるさとの創造を図ります。 |
| 施策(項)名 | 勤労者対策の充実 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■ 目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | 目標値 | | |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|
| | | H22 | H26 | H29 | H32 |
| 就職面接会の開催 | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 |

■ 目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|---|--|
| 1. 項目設定の考え方 | <p>厳しい雇用情勢が続くなか、企業票門などを実施して各企業の業績や雇用状況について聞き取り調査をしているが、町だけの雇用創出には限界があり、非常に困難な状況となっている。</p> <p>そこで、ハローワーク藤沢及びその管内の3市1町(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)の自治体及び商工会議所(商工会)と連携・協力することにより、湘南地域としてより多くの雇用を創出し、より質の高い就労機会を提供することができるとの判断から、「湘南就職面接会」を実施する。</p> | |
| 2. 現状値 | 現状値 | 1回(2月上旬) |
| | 基準日 | 平成22年度 |
| | 算出の根拠等 | ハローワーク藤沢とは、年間をとおして障害者の就労機会なども含め、連携・協力体制を構築しているが、年度末の最後の機会を捉えて、新年度より新たなスタートが切れるように新卒者も対象とするなかで実施する。 |
| 3. 目標値 | 目標値 | 1回(2月上旬) |
| | 基準日 | 平成32年度 |
| | 設定の根拠 | 経済が安定しないことから雇用状況は予測できないが、大きな改善は見られない状況があることから、引き続き、現状の目標値を維持することを前提に設定した。 |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

| | |
|--------|------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特長を生かしたふるさと創造を図ります。 |
| 施策(項)名 | 勤労者対策の充実 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■ 目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | 目標値 | | |
|-------------|----|-----|-----|-----|-----|
| | | H22 | H26 | H29 | H32 |
| 勤労者福利制度利用者数 | 人 | 220 | 220 | 220 | 220 |

■ 目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|--|--|
| 1. 項目設定の考え方 | <p>厳しい経済情勢が続くなか、生活の安定は、勤労者にとって最重要課題となっている。</p> <p>少しでも広く町内在住・在勤の勤労者の生活を安定させるための支援策が町に求められている。</p> <p>そこで、近隣自治体との連携も図りながら、より安心して生活ができるように多くの必要とされる方に活用していただき、現状の町の支援策を充実させる。</p> <p>・勤労者住宅資金利子補助事業(約80名)、・勤労者教育資金利子補助事業(約20名)、・退職金共済掛金補助事業(約80名)、・勤労者福利資金利子補助事業(約40名)</p> | |
| 2. 現状値 | 現状値 | 220人 |
| | 基準日 | 平成22年度 |
| | 算出の根拠等 | 最終的なセーフティネットを利用する前に活用されることが多い制度なので、家庭内の一時的な大きな支出について、ある程度の負担を軽減することができ、生活の安定に非常に有効であると判断できることから、各制度の利用者数総数を現状値とする。 |
| 3. 目標値 | 目標値 | 220人 |
| | 基準日 | 平成32年度 |
| | 設定の根拠 | <p>経済状況が不安定で、急激な賃金アップが大きく望めないことから、ライフスタイルのなかで必要となる大きな出費の軽減を図るために、引き続き多くの方が利用されることが予測される。</p> <p>しかしながら、現状の社会情勢が続くことから、各家庭でも計画を下方修正したところも多いと思われるが、セーフティネットの一環として制度を維持し、必要な人への利用について量的な確保を鑑みて現状値を維持することを前提に設定した。</p> |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 総合計画書の期間においてその指標が継続して存続するものであること。
- (3) 総合計画実施期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。

目標指標設定調書

| | |
|--------|------------------------|
| 関連章名 | 魅力ある産業と活力のあるまちづくり |
| 関連節名 | まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります |
| 施策(項)名 | 観光の振興 |
| 担当課 | 産業振興課 |

■目標とする指標

| 指標名 | 単位 | 現状値 | 目標値 | | |
|------------------|----|------------|-----|-----|-----|
| | | H22 | H26 | H29 | H32 |
| 日帰り観光客数 | 万人 | 184.8(H21) | 210 | 230 | 250 |
| 観光導線の核となる農産物直売所数 | 箇所 | 24 | 28 | 31 | 34 |

■目標とする指標の根拠

| | | |
|-------------|--|---|
| 1. 項目設定の考え方 | 寒川には観光地といった観光地がないため、観光客数を調査できる場所がない。また、観光客による消費額を出すには、ホテルやお土産屋といったものがないと調査できない。しかしながら、観光客数はおさえる必要はあるので、寒川神社の参拝者数を中心とした入込観光客数を「日帰り観光客数」として設定した。今後は参拝者以外の数値もつかむことができるよう検討をする。また、商業、農業などと連携した資源のネットワーク化を見る指標として「直売協力農業者数」を設定した。 | |
| 2. 現状値 | 現状値 | 日帰り観光客数 184.8万人 直売協力農業者数 24軒 |
| | 基準日 | 日帰り観光客数 21年度 直売協力農業者数 22年度 |
| | 算出の根拠等 | 神奈川県入込観光客調査など(日帰り観光客数) 直売協力農業者数(町事業) |
| 3. 目標値 | 目標値 | 日帰り観光客数 250万人 直売協力農業者数 34軒 |
| | 基準日 | 平成32年度 |
| | 設定の根拠 | 現在は神社の参拝者数しかつかめる数値がないが、農業・商業などの資源をネットワーク化することで、神社の数値も増やしつつ、それ以外の数値もつかむことで、35%増の250万人を目標値として設定した。また、直売所協力農業者については、高齢化や後継者の問題もあるが、年間1軒づつは増やし、長期滞在の拠点整備をすすめたい。 |

「記入要領」

1. 指標の設定について

施策の達成状況を客観的に把握するための目標指標を設定してください。

また、項目の設定にあたっては、計画書の「あるべき姿」の達成に向けた指標となるよう注意してください。

【項目設定にあたっての留意事項】

- (1) 設定された指標の達成状況について、把握可能なものであること。
- (2) 基本計画の期間内において、その指標が継続して存続するものであること。
- (3) 基本計画の計画期間である9年間を踏まえ、9年後を見据えて設定すること。

2. 現状値の設定について

現状値の把握にあたっては、平成22年度の値を基本とし、設定出来ない場合は、直近で把握できる年度及び数値を使用してください。

3. 目標値の設定について

目標値については、今後設定される実施計画の最終年度である平成26年度、平成29年度、平成32年度の目標値とし、それぞれの施策担当課において、十分検討し確実に適切な数値を設定してください。

なお、それぞれの目標年度における数値が取れない場合においても、それぞれの年度において把握できる直近の数値を目標値をして設定してください。